

私たちの プラスチック 包装容器宣言

花王は、世界の人々の豊かな生活文化を実現するとともに、地球環境をはじめとする、社会のサステナビリティに貢献することをめざしています。

プラスチックの包装容器は、汎用性、柔軟性をもつことから、花王製品において重要な役割を果たしています。

一方で、プラスチックの過度な使用は、地球環境への影響が懸念されるため、花王にとっても、また、生活者にとっても、解決すべき共通の課題となっています。

花王は130年にわたり、自然と調和しながら、世界の人々のこころ豊かな暮らしに貢献することをめざしてきました。

だからこそ、花王製品の包装容器が自然の脅威となることのないよう、しっかりと見届けることも、私たちの責任だと考えています。

私たちは、自然環境を損なうことなく、
人々のこころ豊かな暮らしを実現する、
革新的な提案をしていきます。

私たちのめざす姿

私たちは、
使用するプラスチックの量を、
地球が受容できる範囲に
とどめるべきであると考えます。

私たちは、プラスチックは、
自然界に排出されるべきでは
ないと考えます。
また、すべてのプラスチックは、
小さなかけらまで、
再利用、またはリサイクルされる
べきであると考えます。

私たちは、すでに自然界に
排出されてしまった
プラスチックについても、
回収され、再生されるべきである
と考えます。

花王の思い

花王は、包装容器の世界を根本から革新します。

- 素材技術と容器設計技術により、画期的な包装容器を開発します。
- 包装容器に使用するプラスチックの量を最小限に抑えます。
- 使用するプラスチックは、地球が受容できる範囲にとどめます。
- 生活者のみなさんが、プラスチック量より少ない容器を使用したり、リサイクルしやすくなるような取り組みを進めます。
- 包装容器の循環型社会をめざして、広く連携を進めます。
- プラスチックへの取り組みの進捗を、毎年、責任をもって報告します。

これらは、花王単独でできることでも、また一朝一夕にできることでもありません。花王が考えるプラスチックの課題解決に向けた取り組みを、同じ思いをもつ企業や団体とともに進めていきたいと考えています。

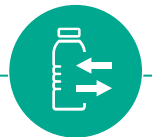
花王の取り組み

日々改良を続け、画期的なイノベーションを起こすような取り組みを、4Rの視点から 推進しています。



Reduce (減らす)

包装容器を薄くしたり、軽量化したりするとともに、製品を濃縮化して容器そのものをコンパクト化することにより、プラスチック使用量を削減します。



Replace (置き換える)

石油由来のプラスチックから、より低炭素で再生可能な植物由来など、持続可能な原料への転換を図っていきます。



Reuse (再利用する)

生活者のみなさんが本体容器を繰り返し使用できるよう、つめかえ・つけかえ用製品などの新しいタイプの包装容器を開発していきます。



Recycle (リサイクルする)

プラスチック包装容器に再生樹脂を積極的に導入するとともに、暮らしの中でリサイクルしやすい包装容器の開発に取り組んでいきます。

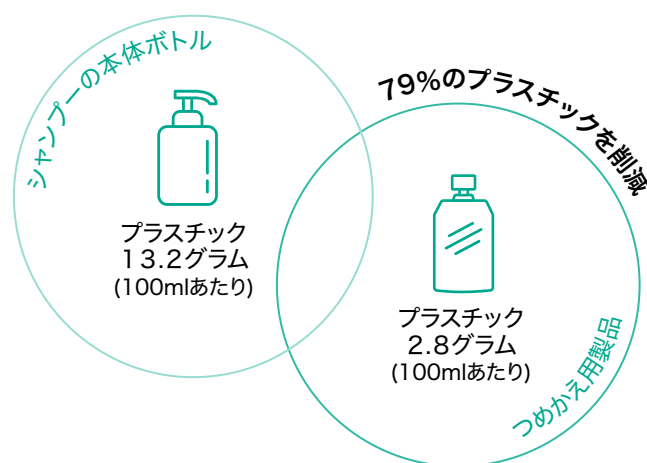
これまでの実績

花王はこれまでも、製品のライフサイクル全体を通じて、環境負荷の低減に取り組んできました。また、生活者視点の包装容器開発を通じて、プラスチック使用量を削減してきました。

プラスチック削減のカギは、本体容器に比べてプラスチックの使用量がずっと少ない「つめかえ用製品」が、日本において、生活習慣として定着したことです。



シャンプーの場合



-74%

トイレタリー製品において、すべてが本体容器だと仮定した場合と比較したプラスチック削減量(2017年)

未来にむけて

売上高原単位当たりの包装容器の原材料は削減してきましたが、製品の生産量の増加に伴い、プラスチックの総使用量は増加しました。この事実を謙虚に受け止め、これまで以上に強い決意をもって、プラスチック使用量の削減に取り組んでまいります。

そのためには、新たな技術開発と投資を行ないながら、未来にむけて、包装容器を飛躍的に進化させる必要があります。また、さまざまなステークホルダーと連携しながら、生活者のみなさんが、包装容器を無理なくリサイクルできるような仕組みもつくらなくてはなりません。

私たちは、強い意志と技術力をもって、自然環境を損なうことなく、こころ豊かな生活に貢献できるような包装容器を開発していきます。

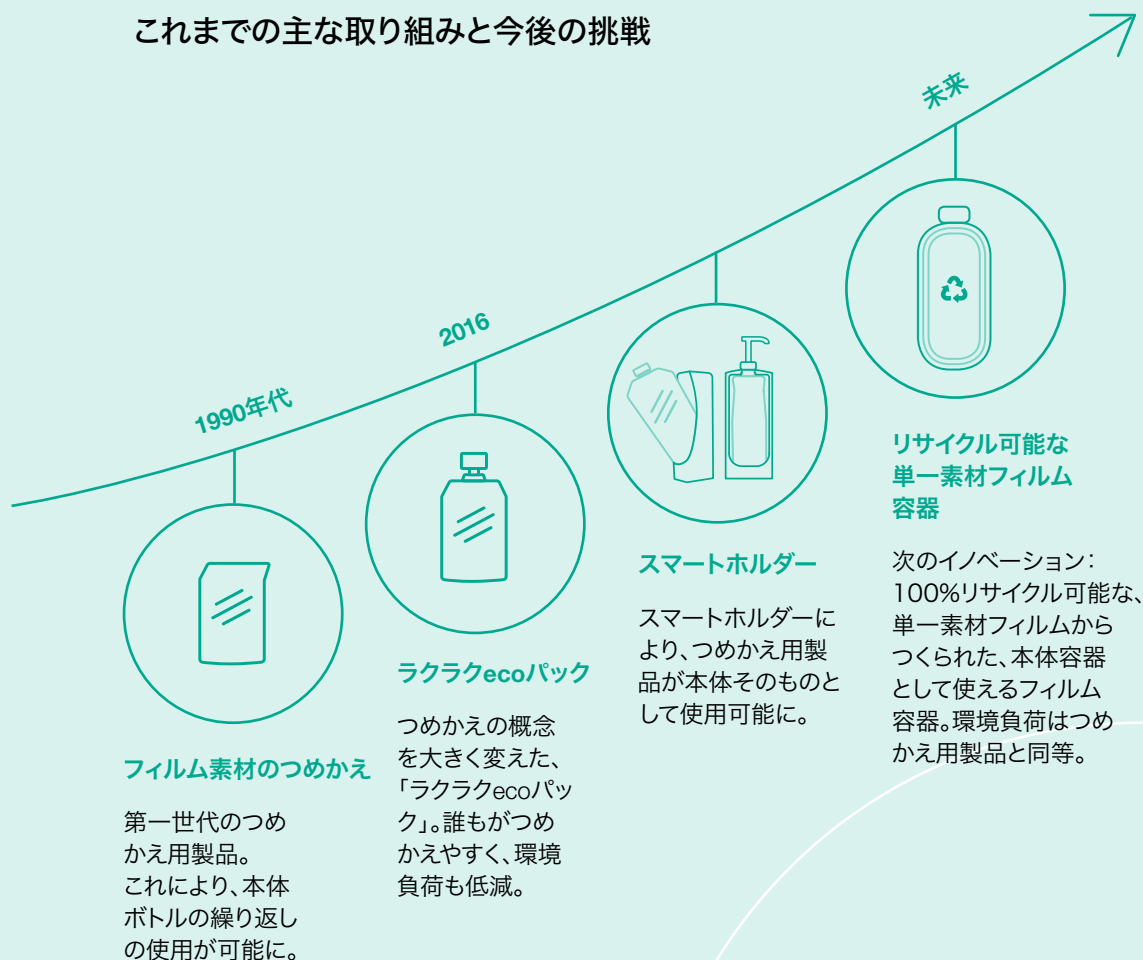
花王の包装容器開発の取り組み

現時点では、プラスチックの包装容器は、製品の中身を保護し、輸送や使用などの際に、重要な役割を果たしています。

しかし、これらを大量につくり続けることは、もはや許されない状況になっています。こうした状況を受け、花王は下記のような取り組みに注力していきます。

- プラスチック使用量を大幅に削減できる、フィルムタイプの包装容器の開発
- 使用後にリサイクル可能な素材によるフィルムタイプの包装容器の開発
- ラクラクecoパックやスマートホルダーの普及

これまでの主な取り組みと今後の挑戦



私たちは、これまでの取り組みをさらに進化させていきます。また、次世代のリサイクル可能な単一素材フィルムからつくるプラスチック容器は、大きな可能性をもつと考えています。